



写真提供:松浦史典/  
認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構

国際協力を学び、行動するキッカケをつかもう!

# 国際協力カレッジ 2023

「国際協力カレッジ」は、国際的な課題に関心を持つ人びとが、国際協力の現場の声に触れ、考え、動き始める「学び」と「きっかけ」の場です。名古屋NGOセンターとJICA中部との協働により、2006年にスタートし、今年で18回目になります。



## 「国際協力カレッジ2023」の概要

今回は3年ぶりの対面による開催となります。1時間目は、国際協力の現場で働いている先輩3人の話を聞きます。2～3時間目は、東海地域にて活動しているNGOによる「ボランティア・インターンマッチング展」を行います。関心のあるNGOと直接話すことができます。年に一度の機会です。このイベントで、あなたに合った国際協力との多様な関わり方、働き方を見つけてみてください。

## プログラムの内容・スケジュール \*プログラムは予定となります。万一、変更があった際はご容赦ください。

13:00~13:10 (10分)	開会のあいさつ 【JICA中部】
	オープニング(プログラムの説明、注意事項) 【総合司会:堀川絵美さん】

## 学ぶ 講義「SDGs達成のため“国際協力”で働く ～仕事としてのNGO、JICA、JICA海外協力隊～」

### 1時間目 13:10~14:20 (70分)

3人の先輩の話を聞き、自分の将来を描こう! 国際協力を仕事にすることの楽しさ、魅力、やりがい、苦労、そして関わり始めたきっかけなどをお話します。

#### ★ゲスト

ふたかど ともみ  
**二角智美さん**  
(特活)イカオ・アコ 理事、  
日本事務局スタッフ



子どもの頃からボランティアに参加。大学時代に本イベントに参加したことがきっかけで当団体を知り、1年間インターンを行う。その後、企業に就職し、マニラに駐在。その間も当団体に関わり続ける。2021年から日本事務局のスタッフとして働き始め、現在に至る。

ふくた ひろゆき  
**福田浩之さん**  
認定NPO法人アイキャン  
専務理事・事務局長



フィリピン大学の地域開発学部で修士課程を専攻する傍ら、2013年より認定NPO法人アイキャンのフィリピン事務所に入職。先住民地域の教育事業、災害救援活動、平和構築事業、路上の子どもの自立支援などに従事。フィリピンでの10年間の駐在を経て、現在は日本事務局で事務局長を務める。

いとう ともよ  
**伊藤知世さん**  
JICA中部  
市民参加協力課 国内協力員



大学卒業後、小学校で教員を6年間したのち、JICA海外協力隊としてマダガスカルで活動する。現地の教員の算数の授業力向上を目指し、算数ガイド本の作成や校内研修の企画・運営に取り組んだ。帰国後は復職し、日本の子どもたちと国際理解学習を進めた。現在はJICA中部で協力隊業務に携わる。

### 14:20~14:30 (10分) 休憩

行動する

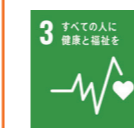
## 多様なNGOの活動紹介を聞こう! 「今日からスタート! 国際協力はじめの一步」 国際協力ボランティア・インターン マッチング展

### 2時間目 14:30~15:20 (50分)

出展団体によるアピール!! 「こんな人、うちの団体に来てください! -団体紹介タイム-」  
【ファシリテーター:堀川絵美さん】



**目標2 飢餓をゼロに**  
**ハンガーゼロ(一財 日本国際飢餓対策機構)**  
「からだの飢餓」と「こころの飢餓」の撲滅を目指し、アフリカなど20ヶ国で地域住民がビジョンを持って主体的にコミュニティ開発を進めていけるようにサポート。国内では「飢餓」の問題を自分事として捉え行動を起こす人が増えるよう啓発活動を行っている。



**目標3 すべての人に健康と福祉を**  
**(公財) アジア保健研修所**  
「誰もが持てる力を発揮し参加できる社会をめざして、行動する人を育む」をミッションに、国外・国内の枠を超えた学び合いの場づくりを行っている。創業時から続けている国際研修では、アジア各国からのNGOワーカーを招いて合宿型の人材育成を行っている。



**目標4 質の高い教育をみんなに**  
**(特活) キャンヘルプタイランド**  
1994年から名古屋で活動している海外支援NGO。東南アジアの貧しい地域で暮らす子どもたちへの教育支援活動(奨学金、学生寮、トイレ建設、図書など)をしている。



**目標4 質の高い教育をみんなに**  
**NPO法人 幸縁(しえん)**  
中米グアテマラの子どものための奨学金事業、リーダーシップ教育を主軸とした現地学習塾運営が主である。また現地で需要がある英語教育をオンラインレッスンの形で提供している。国内では主に公教育の場で両国の子どもとのオンライン交流を実施している。



**目標4 質の高い教育をみんなに**  
**(特活) ル・スリール・ジャポン**  
西アフリカ、サハラ砂漠南のフランス語の国々で「学びの場の環境向上、構築」を通じて、ル・スリール(笑顔)を広げる活動をしている。対話を通じ、地域の主体性、地域、関係組織との連携を大切にし、関わる全ての人々へ寄与できるような活動形成に努めている。



**目標6 安全な水とトイレを世界中に**  
**認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構**  
「水からはじまる自立支援」をキャッチコピーに、安全な水の供給と衛生教育を軸に、アフリカや東南アジアの最貧困地域にて自立支援活動を行っている。国内では、当団体の活動や認知を広め、支援者を増やすためのチャリティー活動をメインに活動している。



**目標13 気候変動に具体的な対策を**  
**(特活) イカオ・アコ**  
フィリピンのネグロス島とボホール島で、マングローブの植林をはじめ、安全な水の供給事業等の環境保全活動を行っている。団体名「イカオ・アコ」は、現地の言葉で「あなたとわたし」。日本人とフィリピン人の協働によって、持続可能な社会実現を目指している。



**目標16 平和と公正をすべての人に**  
**(特活) セイブ・イラクチルドレン・名古屋**  
イラク人医師を愛知県内の病院に研修招へいして、学んだ医療技術を自国で活用してもらっている。医師には日本滞在中に取材・講演等に取り組んでもらい国際交流を図っている。



**目標16 平和と公正をすべての人に**  
**(特活) NICE(日本国際ワークキャンプセンター) 東海事務局**  
国内・海外ボランティア活動を行う国際ボランティアNGO NICE(ナイス)は1990年の設立。国連CCIVSに加盟する唯一の日本の団体で、国内・海外約90か国(アジア・アフリカ・中南米・ヨーロッパ・中近東)でワークキャンプ等の各種事業を実施。



**目標17 パートナリシップで目標を達成しよう**  
**(特活) 名古屋NGOセンター**  
貧困・紛争・環境破壊などの地球規模の課題を解決するために、市民が主体となり取り組む活動を支援している。加盟NGO(37団体)とともに市民への情報発信、政府への政策提言、NGOの人材育成などを行っている。NGO・市民・行政・企業などからの相談に応じる。

### 15:20~15:25 (5分) 休憩

### 3時間目 15:25~16:25 (60分)

国際協力ボランティア・インターン マッチング展  
気になる団体に直接、聞いてみよう~「出展団体とのマッチング展」を特設!

2時間目に参加したNGOの概要やボランティア・インターンとしての活動内容など、興味を持った団体のブースをまわって、気になることを聞いてみよう!きっと自分に合った団体が見つかるはず!!

【ファシリテーター:堀川絵美さん】

### 4時間目 16:25~16:50 (25分)

全体会・ふりかえり  
「今日、知ったこと、学んだことをシェアしよう!」  
【ファシリテーター:堀川絵美さん】

### クロージング 16:50~17:00(10分)

閉会のあいさつ  
【(特活)名古屋NGOセンター常務理事 戸村京子】  
アンケートについて・今後の告知



過去のカレッジ(対面開催)の様子

むらた なおみ  
**村田直美さん**



国際協力カレッジに参加して認定NPO法人アイキャンに出会い、現在はアイキャンでボランティアとして活動しています。

「国際協力カレッジ」で私が一番印象に残っているのは、NGOの担当者さんと直接話げできたことです。詳しい話を伺ったことをきっかけに現在アイキャンでボランティアをしています。当時私は社会貢献に興味があったにもかかわらず、一歩踏み出すことをためらっていました。国際協力=特

別な技術や知識が必要だと思っていたからです。しかし、担当者さんと直接話をしたことで私は考えを改め、現在に至っています。「国際協力カレッジ」は当時の私のように国際協力に興味があるけど一歩踏み出せない方にはおすすめの講座です。

## 参加者の声

過去の「国際協力カレッジ」に参加し、そこで出会ったNGOで活躍している元参加者の声です。

よこえ たかひろ  
**横江隆弘さん**



※写真左が横江さん

国際協力カレッジ2019を契機として、キャンヘルプタイランドでボランティアを開始しました。さらに今年からは、外国人ヘルプライン東海の仲間に加えていただきました。

2023年の夏は、タイ・チェンマイ郊外のカサロンの家という施設を訪問して、子供たちと過ごす経験もできました。同行した女子学生と一緒に、寝台車やピックアップトラックの荷台などを体験して楽しんで元気をもらって帰国しました。勢いそのまま、外国人ヘルプライン東海の相談員の見習いもさせてもらっています。

迷って考えるよりも、やってみてから考えるようにするのがいいと思います。カレッジに参加して、どんな活動があるのか、どんな人が活動しているのかもわかると思います。誰でも何かできることはあるので、まず来てみてください。世界が広がっていきますよ。